成巴(しげとも)秘(ひ)お宝(たから)新聞(しんぶん)

しげとも呉服(ごふく)店(てん)お宝調査(ほうちょうさ)

平成25年8月4日発行

◎佐々木美嘉 ちとせ小学校四年
○中田大夢 東小学校五年
○佐々木茉峰 三本木小学校四年
○中沢寿仁 北園小学校四年

ぼくたち四人はお宝調査のために八月三日成巴呉服店に行った。そして、杉本社長さんに茶菓の接待を受けながらお話をうかがった。杉本さんの先祖は近江(滋賀県)商人で八戸に来られた。その後明治二十八年に八戸の六日町から三本木(現十和田市)呉服店を始めた。初代は、馬吉さんとトメさん、二代目はサミさんと新三郎さん、三代目は幸太郎さんだったが、ミさんと正一さん、四代目は正太郎さんだったが、亡くなったため奥さんの佳築子さんが四代目を受けついでいる。

成巴呉服店の場所と正面写真

杉本幸一郎作「翔」の銅像

成巴呉服店の前で取材班の記念写真

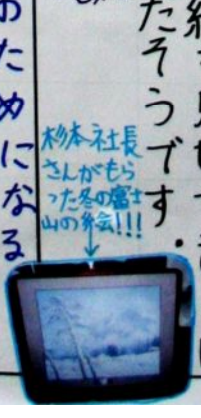
杉本佳築子社長と記念写真

今と昔の杉本呉服店

戦前のときは、いくつものお店が並んでおり、人通りが多くとてもにぎやかだった。一番始めは、四丁目(スーパーホテルの辺り)に建っていた。始めは杉本商店だった。

成巴呉服店の宝物

成巴呉服店で一番大事にしている宝物は、初代の社長さんの馬吉さんが作った着物で、今は大切にしまっていて、行った時は残念ながら見られなかった。しかし、ほかに大事な宝物として、冬の富士山の絵を見せてもらいました。とてもこうかな物だそうです。



地域に対する思い

売る人、買う人、そこにすむ人、みんなのためになるように商売をしているそうです。近江商人の三方よしの精神で地域にこうけんできるようにはたらいているそうです。

みんなのためになるように商売をやっていてすごいと思いました。(寿)

きものを着させてもらって、うれしかったです。昔から伝わって来た、成巴のことが良く分かって良かったです。(大夢)

思いつづけてきてすごいと思いました。(茉峰)

このことを調べていろいろな成巴のことが良く分かって良かったです。昔から伝わって来た、成巴さんの事を知れてとてもよかったです。(美嘉)